

(平成 30 年 6 月試験研究業務月報)

試験研究課題：我が国周辺漁業資源調査

研究

## けた 桁びき網によるアカガレイの資源調査

海洋センターでは、底曳網漁業の重要種であるアカガレイの資源の状況を把握するために、休漁期間にあたる 6 月に海洋調査船「平安丸」の桁びき網<sup>※1</sup>による調査を毎年実施しています。今年は 6 月 6 日から 21 日にかけて 4 回の調査を実施しました。採集されたアカガレイの大きさは、例年と同じく雄では体長 240 mm、雌では 320 mm を中心としたものでしたが、加えて、近年あまり採集されなかった 50～150 mm の未成熟<sup>※2</sup>の小型個体も高い割合で見られたことから、資源管理の効果がみられています。

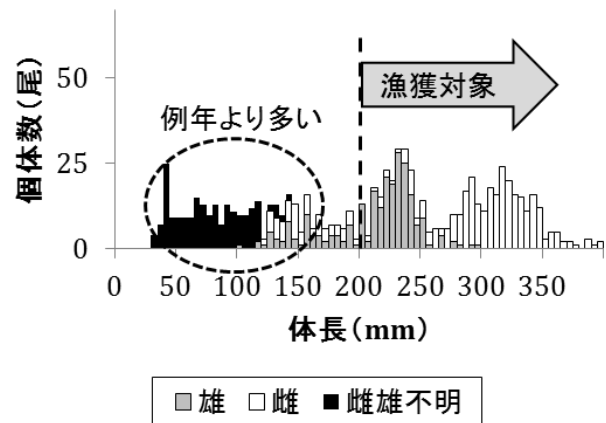
これらの結果は、水産庁が日本海側の各水産研究機関のデータと合わせて分析し、小型魚の保護などアカガレイ資源を持続的に有効活用するための管理手法の策定に役立っています。

※1 桁びき網：鉄枠に漁網を取り付けて海底付近を曳くことで生物を採集する漁具

※2 生殖腺が発達していないため雌雄の判別が難しい



アカガレイの選別作業



採集されたアカガレイの体長組成